

山行報告

山行報告書

平尾

山名	赤坂山・三国湿原	山行名	例会
ルート	マキノ高原～赤坂山～明王の禿～三国湿原～明王の禿～赤坂山～マキノ高原		
山行日	2024年6月20日(木)	天候	曇りのち晴れ
参加者	CL 平尾、SL 伊藤多、木田、佐々木、永井、山本、米田/7名		

ルート概略図 	コースタイム			
	地名		地名	
	マキノ高原	時：分	三国湿原	時：分
	発	8：35	着	12：00
	着	9：37	発	12：30
	ブナの木平	時：分	赤坂山	時：分
	着	9：46	着	13：18
発	9：46	発	13：28	
栗柄越え	時：分	栗柄越え	時：分	
着	10：28	着	13：33	
発	10：32	発	13：33	
赤坂山	時：分	マキノ高原	時：分	
着	10：39	着	14：55	
発	10：56	発		

今回は花を見る山歩き企画で、三国湿原に咲くキンコウカを見ることが最大の目的。過去の開花時期を調べ、梅雨時の雨天にも備え平日2日の予備日を設けて募集した。幸い天候に恵まれ、予備日のみ参加予定だった人も当日参加が可能となり、希望者全員で山行ができた。マキノ高原までは車2台で予定より早く着いた。登山口から最初の急坂を登り、マキノ遊歩道と出会い樹林帯へ。饗庭野演習場からの突然の轟音に驚く。ブナの木平で最初の休憩。小浜から海産物を運んだという石畳の道の脇にはコアジサイがたくさん咲いていた。堰堤の上に出ると、工事の立て札があった。鉄塔建替のための工事で谷から山の上へレールが伸びていた。沢を越えブナの林を行くとオオイワカガミの丸い鏡のような葉が林床一面に輝いていた。栗柄越えの手前の平原にはエゴノキが花をたくさんつけ、ヤマボウシの白い花と競っているようだった。栗柄越えからは広々とした草原を赤坂山へ向かっていく。小浜側の折戸谷からの道と合流し少し行くと、右手に馬頭観音像が祀られていた。小浜からの荷を積んだ馬の中には途中で命を落とすものもあり、それを弔うため祀ったものかと想像した。山頂では薄雲で視界全開ではないものの360度、琵琶湖、伊吹山や湖北の山々が望めた。風があり少し寒くなってきたので写真を撮り先を急ぐ。明王の禿へ向かい一旦下る。ブナの林をこえ花崗岩の荒々しい岩肌が見えてくると明王の禿。眼下にマキノのメタセコイア並木の緑が一直線に見える。2ヶ所ほど右手の崖へ出られるところの眺望がすばらしかった。コアジサイの群生を横に見て三国山の方へすすむ。オオコメツツジの白い花やブナの林にタンナサワフタギの白い花、ハナヒリノキなどがあつた。明王の禿から黒河峠までは、中央分水嶺を少し外れ南側にトレイルはついている※。三国山の登り口を越え小さな沢を2つほど越えていく。本日の目当ての花、キンコウカは漢字で金光花と書き飯豊連峰の縦走路でも見かけたが、三国湿原はその西限という。6月下旬から開花との情報できたが、今年はまだ少し早かったかと諦めかけた。12時近くになり湿原に近づいた時、先頭のSLから「咲いている」と歓声があがった。木道の脇に一面のキンコウカが見られた。下から順に黄色い花が咲いていき、まだ咲き初めで上の方は蕾が多くしばらくは楽しめそうだ。この先何年もずっと咲き続けてほしいものと思った。下山は、寒風へ行くと約1時間半長くなり、来た道に戻った。ブナの木平へは寄らず左の近年作られた道を行くとブナの木が見られた。

YAMAP：12.3km、6時間19分、累積標高差1,003/995m

※国定公園・鳥獣保護区指定、三国山湿原植物群落保護林が設定、キンコウカは保護対象種

ヒヤリハット なし



赤坂山 山頂



明王の禿



明王の禿



キンコウカに囲まれて 三国湿原

<感想>

米 田

初めての赤坂山でした。いきなりの急登が続き汗だくになりました。登山道には愛らしいコアジサイ、エゴノキ、ヤマボウシの花々が迎えてくれました。頂上は 360 度のパノラマ展望です。周りの美しい山々と琵琶湖や新緑のメタセコイアの並木を眺めました。風も心地良いです。三国山湿原に下り大変珍しい花キンコウカに会えました。名前とイメージは違っていただけ可愛い黄色い花でした。キンコウカを眺めながらの贅沢ランチ。I さんはリラックスして木道に寝転がっていました(笑) 私達のほぼ貸し切り状態でした。高島には周りに沢山の山もあり又チャレンジしたいと思います。有り難うございました。

山 本

以前に何度か例会案内があった赤坂山。今回は湿原も！とのことで平日ではありましたが有休ゲットして参加しました。やはり、暑さと湿度はつらかったですが夏山のトレーニングだと思えば思いのほか足取り軽く歩けました。道中ずっと続いて見えたのは、ヤマボウシとピカピカのイワカガミ。途中、草花の少ない禿山や岩肌の突起個所は好みのコース。三国山湿原に着いてみると、期待薄だったらしいキンコウカがこれから満開を迎えるタイミングで遭遇！黄色いカワイイ星形の花弁をつけたその花咲きには思わずスマホのカメラで乱写してしまいました。距離もコースも、現地までの移動も個人山行もできるなあと思い、またチャレンジしたいです。

永 井

暫らく例会に参加できず、付いて行けるか不安なままで参加した。メタセコイア並木をくぐってマキノ高原登山口駐車場に到着。秋には黄金色の並木も、今は新緑のトンネル。季節を感じる風景である。準備体操後 登山口へ向かう。いきなり急登の階段が暫らく続く。「まだ終わらないのか」と頭は弱気モードに。さらに歩くとそんな気持ちもなくなり、少し負荷がかかる登りを楽しみだした。途中、コアジサイ・ヤマボウシ・イワカガミ・オオカメノキなどが現れる。コアジサイは解るものの その他は H さんに教えて頂いた。ヤマボウシは白と淡いピンクの花が、イワカガミは葉が周りを映すかと思うほどの光沢が、印象的だった。三国湿原ではキンコウカの群生に出会え、黄色の花に囲まれて昼食タイム。ただ木道以外は群生エリアなので、木道に腰を下して食事をする。S さんにキンコウカの漢字表記を訊ねると、「金色の光を放つ花（金光花）じゃないの」と即答。帰宅後調べると 🌼 でした。赤坂山山頂からは、霞んでいたが琵琶湖 伊吹山の姿を見る事ができ、琵琶湖の広さを実感した。車出し運転手さん、長距離運転ありがとうございます



キンコウカ